

訪問リハビリテーションLife 2020年満足度調査結果報告 ~介護支援専門員様のご回答結果~

平素大変お世話になっております。この度は訪問リハビリテーションLifeの満足度調査にご協力を頂き大変ありがとうございました。集計結果のご報告とともに、頂いた大切なご意見を手がかりに、より良いサービス提供につなげていきたいと考えております。今後とも訪問リハビリテーションLifeをよろしくお願ひ致します。

□ 回収率 100%

回収数/配布数 33/33

※2020年7月～10月にご利用いただいた利用者の担当介護支援専門員様に回答を依頼しました。

□ 方法

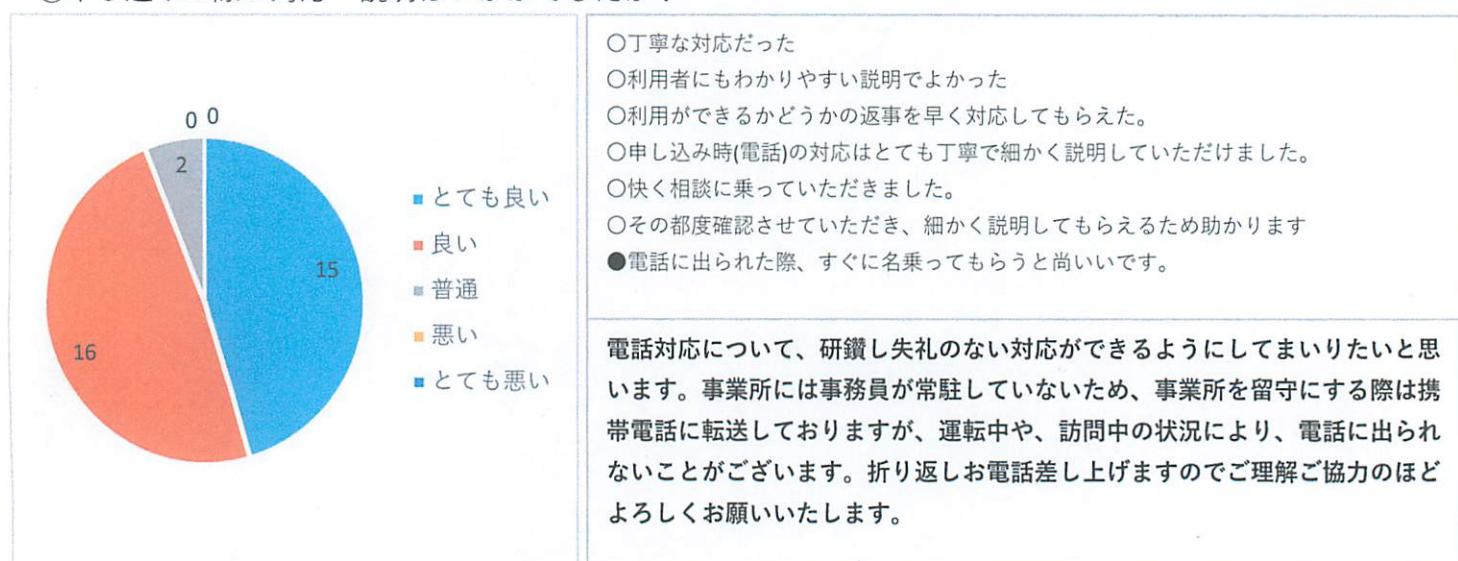
アンケート用紙(紙媒体)での郵送によるアンケート調査

□ 内容

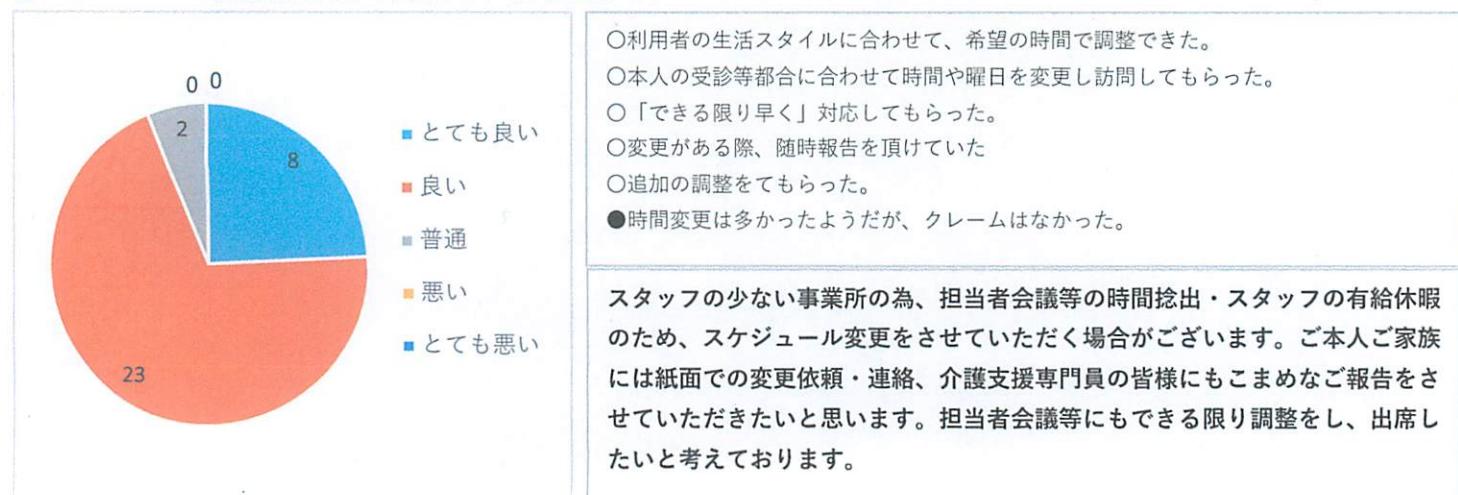
全9問の設問に対し、と自由記載でご意見をいただきました。

□ 設問ごとの結果・内容・Lifeの今後の取り組みについて

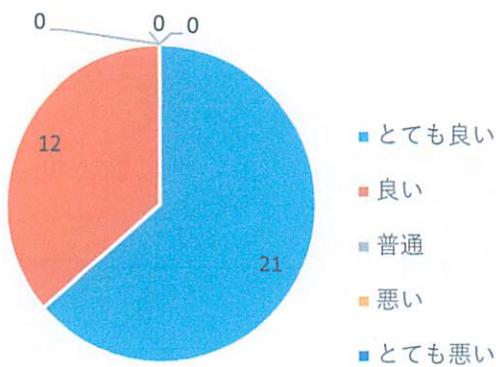
①申し込みの際の対応・説明はいかがでしたか？



②スケジュール調整等は良く出来ていましたか？



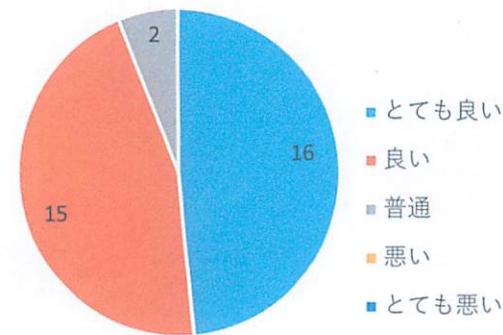
③連絡・報告・相談等は良く出来ていますか？



- タイムリーに報告連絡相談いただいた
- 利用状況や、家族の対応なども報告され、訪問時よく話が聞けた。
- リハビリテーションの視点でのアドバイスでプラン見直しの参考になった
- 他のサービスより頻回に連絡してくれる
- 心配なことがあるとすぐ対応してもらうことができ、報告があるので安心できた
- 福祉用具や住宅改修、リハビリの内容など具体的に伝えてもらった。

退院直後の利用者は特に、訪問毎、心身の状態が変動しやすいと感じております。スムーズに地域生活に移行し、1日でも早く生活が安心なものになる様、介護支援員、その他の支援者と情報を共有しより良い支援に努めてまいりたいと思います。

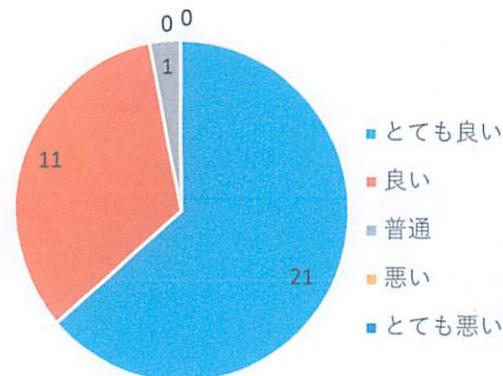
④報告書の内容はわかりやすいものでしたか？



- わかりやすい内容だった。
- 本人の状態や、気持ちの変化等細かくご連絡もらい助かる
- 手すりの設置位置についてアドバイスを依頼したところ、写真を用いてわかりやすく迅速に対応してもらえた。
- 専門的見地と生活の視点から留意することや提案があり助かった。

簡潔明瞭に、わかりやすく記載するように心がけております。利用者本人の身体状況やリハビリテーションの内容だけでなく、本人やご家族の思い等もご報告していきたいと考えております。

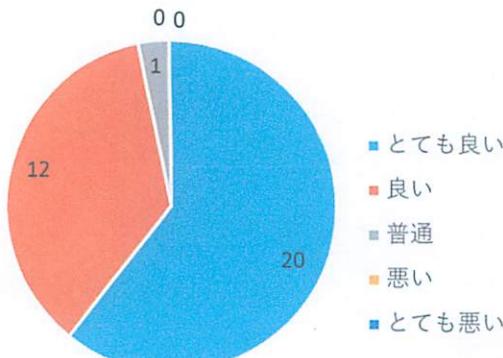
⑤サービスの提供内容はいかがですか？



- 自宅で実際の入浴動作確認が本人の自信につながった
- 状態の改善が見られ、自主トレに積極的に取り組むことができている。
- 本人のペースに合わせて丁寧にかかわってもらっている。
- 本人のしたいことやできるようになりたいこと向けたリハビリで、本人の意欲向上につながった。
- 本人の生活に合わせ、リハビリメニューを考えていただき本人も納得した形でリハビリができていた。

本人・ご家族の目標に則し、生活がより良いものになるように支援してまいります。必要に応じ、入浴、買い物、調理、畠仕事などが実際の場面で練習できるのも、訪問リハビリテーションの強みであると考えます。今後ともご活用いただければ幸甚です。

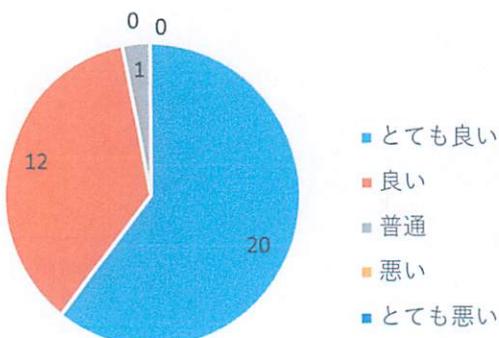
⑥リハビリテーション職員からの提案や助言は適切でしたか？



- 福祉用具についてアドバイスがもらえてよかったです。
- 携わりながら、必要なサービスを提案してもらい助かった。
- コロナで退院指導ができない中での退院で、リハビリからの助言で助かった。
- その人に合ったプログラムで、本人が継続して自主トレができる。
- 家族にも状況に応じて説明してもらえてよかったです
- 本人家族のみならず、通所スタッフにも助言してもらい不安軽減になった。

今後も、利用者、ご家族のみならず、他の支援者の皆様ともリハビリテーションの見地からのご提案をさせていただければと思います。より、「その人らしい」自立した生活に向けたご提案をさせていただきたいと考えております。

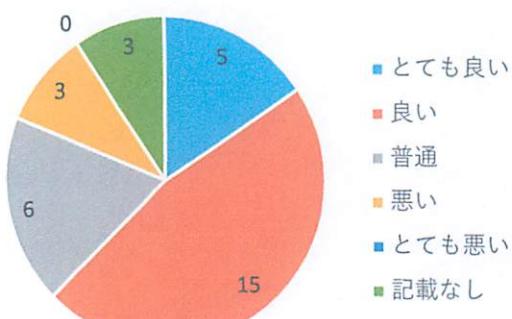
⑦利用者、ご家族から聞かれる声はいかがでしたか？



- 適切な訓練だった。対応が丁寧だった
- 自宅での生活動作も援助なくでき、日課として自主トレもできるようになった。
- 修了後もLifeに教えてもらったことを毎日やっていると話されている。
- 生活に直接根付いた課題に取り組むことができ改善できたことに満足。
- 生活に則した実践的なリハビリとの認識が薄い方がいる。

病院で行ってきたような関節運動、筋力訓練、歩行訓練などこそリハビリテーションであると思われることも多々あります。在宅でのリハビリテーションは毎日実施できない状況にあり、また、入院中の基礎を実践に活かしてこそ生活に役立つものであると考えております。実践的な活動の必要性を丁寧に説明しながらサービス提供に取り組んでまいります。

⑧利用期間はいかがでしたか？



- 期間・目標を明確にして、だらだらせずにしているのは良いと思う。
- 必要性の高い人の期間延長に対応してもらえた。
- 3ヶ月という期間が明確のため、本人に於ては目標が具体的になってよかったです。
- 目標達成に合わせて、だらだら長く利用するのではなく、良いと思う。
- 3ヶ月はちょっと短い。
- 必要に応じて延長できるとよいなと思う。

Lifeでは、目標達成状態、その方の状況に応じて、延長を提案しております。しかし、訪問リハビリテーションでは、「事業所の医師(竹田総合病院)」から3ヶ月に1回「指示」を出していただく必要があります。必要のあるすべての方に延長ができない状況もございます(主治医が院外へ変更など)。Life利用中から、終了後の利用者様の生活もより良いものになるように、一緒に検討させていただきたいと考えております。

⑨その他お気づきの点、ご要望等

- ・外には行きたくないが、家でリハビリしたいという利用者は多い。訪問リハをきっかけに、外に出る事への意欲向上につなげて行ければと思うので、退院後だけでなく幅広く受け入れてもらえると助かる。
- ・再利用、延長が可能になったので良い
- ・退院直後で、自宅でのペースが本人も家族もつかめない中、訪問リハビリを利用してことで、入院前の生活を徐々に取り戻せ、本人も自信がついて、生活できるようになりました。
- ・竹田病院の医師が主治医でなくても利用できるようになれば、もっと利用しやすくなると感じます。
- ・ケースによっては、目標達成に時間がかかるケースがある。その都度相談にのってもらうが、利用者が増えると簡単に延長をお願いするのが難しい。
- ・入院中に病院と連絡をある程度取ってくれるので助かる。
- ・ケアマネとだけでなく、各事業所と情報共有を直接してもらうことで連携がさらに強くなり、本人の利益となって反映していくのでうれしく思う。

○主治医について

介護保険下の「訪問リハビリテーション」は、「事業所の医師から」3ヶ月に1回指示を頂かないとリハビリテーションが提供できません。「別の医療機関」の先生から指示を頂く場合、「別の医療機関」の先生が「適切な研修を受けている必要」があり、現状では別の医療機関の先生から指示を頂くことが難しい状況にあります。そのため、3ヶ月を越えたLifeのご利用や、在宅からのご利用ができないケースがあり心苦しく感じております。

○延長について

Lifeでは、上記のような内容も考慮しながら、必要性のある方への延長の提案をさせていただいております。お申込みの際、訪問スケジュールにより、ご希望の曜日・お時間、回数を確保できない場合もございますが、基本的に断りはしない姿勢で取り組んでおります。訪問リハビリテーションよりも、ご本人が優先した方が良いと思われるサービスがある場合はそちらを優先しつつ、延長についても早い時期から積極的に意見交換をさせて頂きたいと考えております。

この度は、Lifeの満足度調査にご協力いただき職員一同、大変感謝しております。皆様にいただいたご意見により、私たちが取り組んでいくべきことを見直す機会を得、明確にすることができました。今後も皆様のお力添えをいただきながら、より良い訪問リハビリテーションサービスの提供に努めてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

2021年 1月 訪問リハビリテーションLife

村山由美 福夢早苗 麻山智信